

支援プログラム

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスちえのわ		
法人（事業所）理念	医療法人として、地域の皆さまの声に耳を傾け、地域の皆さまに満足いただける安心・安全な医療・福祉サービスを提供します。		
支援方針	将来、子どもたちが大人となり自立した生活を送るために、必要不可欠となるスキルを習得し「できる」を増やします。そのために、子どもが主体的かつ自発的に集団に参画できるような支援プログラムの提供ならびに環境の整備を行います。また、子どもの「できる」を保護者や関係機関と共有し、家庭や関係機関と統一した支援に努めます。		
営業時間	平日 10 時 00 分から 19 時 00 分まで 学校休業日 9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	心身の健康状態の維持／改善、日常生活で必要となるスキルの習得を支援します。 【プログラム例】 SST（ソーシャルスキルトレーニング）、トイレトレーニング、身だしなみ、クッキング、交通ルール、避難訓練など	
	運動・感覚	身体の感覚や感触を刺激し、運動機能、バランス感覚、力の強弱、モノとの距離感などの発達を促します。 【プログラム例】 手先トレーニング（シールはりなど）、感覚遊び（粘土など）、ルールのある遊び（新聞紙じゃんけんなど）、サーキットトレーニング、リトミックなど	
	認知・行動	集団の中でのルールや役割、順番、気持ちの切り替えなど集団の中で必要となるスキルの習得を支援します。 【プログラム例】 少人数療育、季節の制作、季節のイベント（クリスマスやハロウィンパーティーなど）、外出イベント（外食、水遊び、雪遊び、動物園、水族館など）など	
	言語コミュニケーション	人との関わりの中から自己と他者への理解を深めるとともに自己と他者に対する受容性を高めることで対人コミュニケーション能力の向上を図ります。 【プログラム例】 SST（ソーシャルスキルトレーニング）、グループワーク（表情の読み取りなど）、音楽療法、英語学習、ルールのある遊び（あいさつゲームなど）、自己紹介など	
	人間関係社会性	集団での活動を通じて、児童の自主性や協調性を育み、社会性を身につけます。 【プログラム例】 ルールのある遊び（すごろくなど）、音楽療法、グループワーク、お誕生日会、季節のイベント、外出イベントなど	
家族支援	連絡帳やSNS（インスタグラム等）などを活用し、日頃より児童の活動の様子を共有するとともに、保護者と円滑にコミュニケーションを図るため公式LINEを導入し、保護者が相談しやすい環境を整備しております。	移行支援	目先の変化だけではなく、将来的なライフステージの変化を見据えた包括的な移行支援に努めます。
地域支援・地域連携	保育園や学校、相談支援事業所、児童発達支援センターなどの関係機関と児童に関する情報の共有・交換を行います。また、関係機関と連携し支援方法や環境整備などの調整に努めます。	職員の質の向上	サービスの質の向上及びスタッフへ学びの場を提供するため、所内研修としてオンライン研修システムを導入しています。また、必要に応じて公的な外部研修に参加し、さらなるサービスの質の向上を図ります。
主な行事等	事業所内外での行事では、日々の活動で培ったスキルを実践する場を提供します。事業所内での行事は、季節や文化に触れることのできる活動を主に行います。事業所外での行事は、外食先での注文やお店での買い物、公共交通機関を利用した外出などを行います。 【プログラム例】季節のイベント（クリスマスやハロウィンパーティーなど）、外出イベント（外食、水遊び、雪遊び、動物園、水族館など）		